

研究協力のお願ひ

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

発達障害専門外来を受診された患者の特徴および転帰についての診療録を用いた後方視的研究

1. 研究の対象

2013年1月1日から2016年12月1日までに昭和大学附属烏山病院における発達障害専門外来もしくはADHD専門外来を受診された方

2. 研究目的・方法

自閉症スペクトラム障害(Autism Spectrum Disorder: 以下 ASD)や注意欠如多動性障害(Attention Deficit Hyperactivity Disorder: 以下 ADHD)に代表される成人期の発達障害についての社会的関心は高いが、精神科にて本格的に診療されるようになってから10年程度しか経過しておらず、成人になり受診される発達障害者の特徴については未だ明らかとなっていない。昭和大学附属烏山病院では2007年より成人発達障害の専門外来およびデイケアを先がけて開設していることから、現在数多くの患者が通院している。本研究では烏山病院の成人期発達障害専門外来を受診された患者の背景、症状、施行した心理検査、転帰を診療録から後方視的に調査することにより、本邦における成人期発達障害の臨床的および社会的特徴を明らかにすることを目的とする。診療情報の利用に伴う同意取得の方法:院内掲示又はホームページによるオプトアウトを行う。研究概要(研究目的・調査内容等)を適切に通知・公開し、診療録情報の利用について適切な拒否機会を与える。

研究期間

2016年12月24日～2018年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2013年1月1日から2016年12月1日までに昭和大学附属烏山病院において発達障害専門外来を受診した患者データから、患者背景(性別、年齢、当院での診断名、初診日、現在の精神症状、これまでの診断名、学

歴、就労歴、服薬内容、遺伝負因、出生時体重、初語の発現時期、幼少時の問題行動の有無、同居者の有無、結婚歴)、通院後転帰(就労および就労継続、就労支援利用の有無、デイケア利用の有無、障害者手帳や年金の取得の有無、退職した場合はその理由)、心理検査(AQ、ASRS、WAIS)、ADHD 治療薬(メチルフェニデート徐放剤、アトモキセチン)の使用割合やその効果、および出現した副作用について診療録を用いて調査する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属: 昭和大学発達障害医療研究所 講師(医師) 太田 晴久

住所: 157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11 電話番号: 03-3300-5231

研究責任者:

昭和大学附属烏山病院

病院長

岩波 明